

ちとせ観光通信

～千歳一遇～ せんざいいちぐう

発行 一般社団法人 千歳観光連盟

066-0042 千歳市東雲町3丁目2-6 千歳商工センター3階

電話 0123(24)8818

FAX 0123(24)8819

2026年7月26日発行 【再刊第49号】

今号の話題

- 観光連盟、社員総会を開催
さらなる観光振興に尽力へ
- 市民夏まつりが開幕
スカイピアが中心街盛り上げる
- 千歳市民花火大会開催
夜空の大輪に見物客が歓声

観光連盟定時社員総会開催

さらなる観光・経済活性化へ

25年度観光消費額等 1018億円

観光連盟は6月30日、定時社員総会を千歳市内の千歳市商工センターで開催しました。

あいさつで会長の小田賢一は、2025年度の国内の観光状況から、円安などを追い風に国外からの観光客数は過去最高となり、25年度の新千歳空港においても国際線・国内線ともに2年連続で過去最多の旅客数となったことを紹介。千歳市内の観光入込客数は、対前年度比13%増加となつていま

す。国内外の旅行需要の回復の好影響が市内にも及んでいることから「千歳市内の観光消費額と経済波及効果の算定では、観光消費額で約890億円、直接効果やサービス・雇用などの一次・二次効果

を合わせた経済波及効果は約1018億円となり、対前年度比では約2倍となっております。今後も市内での宿泊施設や飲食店の増加に伴って旅行者の消費拡大が見込まれるものと考えております」と述べました。

一方で、人手不足や物価高騰、



25年度事業などを報告し、新年度の取り組みに意欲を新たにした社員総会

気候変動への対応、観光公害への配慮など、観光を取り巻く環境の変化にも言及。「観光を地域の基盤産業として持続的に成長させるためには、量だけではなく質の向上を図り、地域の皆さまと共生する観光を進めていくことが、今まさに問われていることと感じております」とし、連盟として26年度の基本方針に基づく各事業を軸に、地域の観光を成長させる取り組み、地域との連携を通じて、「選ばれた観光地」としてのブランド力を高め、地域経済の活性化につなげる決意を強調。「市内の幅広い関係者との連携を強め、観光消費額の増加や閑散期の誘客など、千歳市が策定した新しい観光振興プランに沿って、観光振興、経済活性化の中核としての使命と役割を果たしてまいりたいと考えております」と決意を新たに表明しました。また4月に支笏湖の老舗である丸駒温泉旅館の株式取得によ

り、当旅館を事業承継したことも報告しました。

25年度事業も報告しました。公益事業では、「観光プロモーションに係る事業」として情報発信・広報宣伝・セールス活動で、国内では第3回国際ウエルネスツーリズムEXPO(東京)や北海道観光機構主催のメディア対象情報交換会(東京・大阪・名古屋)等に参加。旅行会社やメディア等への情報提供やセールス活動等を実施したほか、国内外の教育旅行の受入を行いました。

「観光イメーリアップに係る活動」では公式観光サイト「ちとせ観光ナビ」による情報発信を実施。特集記事やスポット体験情報など掲載コンテンツの拡充を図り、当エリアの観光情報発信の強化に取り組みました。またSNSによる情報発信を行い、リアルタイムでの情報提供を行いました。特に「ちとせ観光ナビ」での情報発信は、

特集記事やスポット体験情報など、掲載コンテンツを拡充と北海道観光機構公式観光サイト「HOKKAIDO LOVE-」とのデータ連携により最新の千歳の観光情報がリアルタイムに掲載されるなど観光DXを推進。ユーザー数は対前年120%、PV数は対前年115%と伸びを記録しています。

千歳観光案内所、千歳観光連盟支笏湖支所を運営したほか、レンタサイクル「そらチャリ」(4月25日～10月31日)は、4カ所の貸し出し場所での利用実績は227件(前年度130件)。内訳は市内21件、道内21件、道外165件、海外20件。千歳観光案内所『手荷物預かりサービス』(25年6月～26年3月)は利用実績86件。千歳観光連盟支笏湖支所『手荷物預かりサービス』(25年4月～26年3月)の利用実績は1662件でした。

美笛キャンプ場運営(指定管理)は令和7年4月25日～10月19日(開場日数178日(閉場3日間))の期間中、2万7230人(前年2万5589人)対前年比6.4%増となりました。

地域物産販促事業では道外百貨店物産展に参加・出展したほか、出店を仲介しました。大手百貨店等のバイヤーの視察受け入れや商談を実施。千歳市産業振興部商業労働課と共に千歳市特産品販売促進事業者のPR及び販売促進を目的に道外百貨店(関東・関西)を訪問し、担当バイヤー等への挨拶及び商品PR、意見交換等を実施しました。

観光連盟では、26年度も各種観光イベントへの支援、情報発信や国内外の観光関係者を招いての誘客促進など、地域の活性化につながる事業に取り組んでまいります。

スカイ・ピア&YOSAKOI祭

夏祭りの季節到来

千歳の夏盛り上げる

市民夏祭りが開幕

千歳の夏を華やかに彩る、第50回千歳市民夏まつりが開幕しました。皮切りは、ビールとヨサコイソーラン演舞で夏を満喫する「スカイ・ピア&YOSAKOI祭」(同実行委主催)。7月18～20日の3日間、市内中心部のグリーンベルトで開かれました。期間中は雨に



交流としたが各地域の魅力を発信したステージ



勇壮な演舞が会場を盛り上げたYOSAKOI
のトーナメント戦

も見舞われましたが、ステージでのヨサコイチームによる演舞をはじめ、各種イベントが繰り広げられ、来場者を楽しませました。同実行委には観光連盟も加入し、開催に協力しています。

斉藤元彦実行委員長のあいさつ、横田隆一市長の乾杯で開会しました。姉妹都市の鹿児島県指宿市、米アンカレジ市のほか、空路交流都市である富山県砺波市などからの親善使節団による会場ではキリンビール北海道千歳工場のビールで喉を潤し、会場に並んだ

焼き鳥やアイスクリーム、ザンギなどの出店から買い求めた食べ物を味わいました。支笏湖漁協も支笏湖特産の支笏湖チップ（ヒメマス）の塩焼きを販売しました。

今年のヨサコイは、18日に栗山町で予選を開催。19日には16チームによるトーナメント戦を行いました。どのチームも勇壮な音楽に合わせた、躍動的な演舞を繰り広げ、会場を沸かせました。審査を経て、優勝には「天嵩（Amata）」が輝きました。

姉妹都市の米アンカレジ市のほか、青森空港振興会議、茨城空港利用促進等協議会、岩手県空港利用促進協会、富山県の砺波市観光協会などから関係者が来千し、ステージで観光や名産をPRする時間も設けられました。

期間中のステージでは、北海道日本ハムファイターズの「ファイトーズガール」によるダンスショーや道内で活動するアイドル



多くの人出に恵まれた会場内

グループ ambitious のライブ、フランダース、バトントワリング、ANA千歳空港で音楽活動に取り組む職員でつくる「CTS Ensemble KANTO」による演奏が披露され、盛りだくさんの内容が来場者を沸かせました。

今年は千歳市空港開港100年の節目の年でもあります。記念特別企画として、JALスカイ札幌、スカイマーク、AIRDO、ANA、日本航空大学校北海道校ほか、空路交流都市による特設ブースなども出店しました。

千歳市民花火大会

夏彩る、夜空の大輪

千歳の空に4000発

開港100年の趣向も

千歳市空港開港100年を記念した千歳市民花火大会が7月25日夜、北千歳駐屯地を会場に開催されました。同実行委員会主催、観光連盟協力。スターマインなど約4000発を夜空に打ち上げ、千歳の夏を華麗に彩りました。

当日はやや肌寒さがありながらも、天候に恵まれた花火日和。煙を流して視界をクリアにしてくれる風もあり、良いコンディションとなりました。

花火は連続で切れ目なく打ち上げて夜空を染めるスターマイン、大輪の美しさを堪能できる単発での打ち上げ花火、地上から火花を吹き上げるような趣向などを展開。デジタルスターマイン、音楽



に乗せて打ち上げるミュージック花火など、さまざまな花火が観客を楽しませ、中でも大輪が夜空いっぱいに広がると、大きな拍手と歓声が響き渡りました。

飛行機の絵とともに、「千歳市空港開港100年」の文字を花火で大きく描く仕掛け花火もあり、空と千歳の結びつきの生まれた記念すべき節目の年を祝う趣向も会場を盛り上げました。

当日は陸上自衛隊北千歳駐屯地の夏祭りも開かれ、音楽演奏や盆踊り、ヨサコイ演舞、売店などにぎわいを見せました。

イベント情報

▼CHITOSE RIVER CITY PROJECT × ちとせ川ビール祭り
(2026年8月6日～9日、千歳川沿い河畔公園、親水公園、河川敷) 同実行委員会主催、グルメの出店や各種ステージイベントを開催。清流下りのほか、オープンカフェ、ビアガーデンを予定しており、千歳川沿いで夏を満喫できます。

▼千歳市民納涼盆踊り・同大会
(2025年8月20、21日、グリーンベルトお祭り広場・中心商店街) お祭り広場に組み立てられたやぐらを中心に、子供盆踊り、北海盆歌や千歳音頭を繰り広げ、過ぎ去る夏を惜しみます。21日は多くの参加チームが出場して盆踊り大会を開催予定。企業、団体、自衛隊、行政等の関係者が、中心市街地を

練り歩く千歳の夏の風物詩です。開会は午後6時50分を予定しています。

▼千歳神社秋季例大祭(2026年9月1～3日、千歳神社境内、青葉公園内) 境内や参道に出店が立ち並び、千歳の秋の始まりを感謝、豊作を祈願します。神輿渡御が行われます。9月3日には市内中心部と同神社境内で、千歳巴会による神輿行事が行われるほか、期間中は華道展や雅楽、神楽、子供相撲といった奉納行事が行われる予定です。

▼千歳基地「航空祭」(2026年9月6日、航空自衛隊千歳基地) 航空自衛隊に対する理解と認識を深めるために航空自衛隊千歳基地が主催する祭です。毎回、政府専用機やF15戦闘機の飛行をはじめ、自衛隊機の地上展示などを行い、道内外の航空自衛隊ファンに親しまれています。

編集後記

仕事を終えて、千歳川にほど近い自宅に帰宅した夜。近くの池のある公園で奇妙なものが見えました。ふわふわと漂う小さな光。それはホタルでした。

無数の光の粒が宙を舞っていました。どの粒も動きも早さも不規則に、木の枝にとまったり、水面を低空飛行したり、線香花火の最後のように垂直に火が落ちるような動きを見せるものもありました。

アイヌ語の辞典にホタルを意味する言葉が記載されています。北海道にもいるにはいるのでしょうか。今まで見たことのない場所で見られるのは、温暖化の影響でしょうか。心境は複雑ですが、この美しさを千歳で見られた感激にしばし浸っていました。(ひ)